

[トップ](#)
[学校便り](#)
[学校案内](#)
[行事予定](#)
[お知らせ](#)
[講話](#)

◀ 2017年08月 ▶

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

学校便り

[トップ](#) > 学校便り記事一覧

東北ボランティア 南三陸F隊 活動報告

2017年08月29日

8月23～28日の日程で、高I有志で南三陸の復興支援ボランティアに行ってきました。C隊と入れ替わる形で米川ベースに入り、6日間の活動です。



毎日夕食後に次の日の活動予定を話し合います。4日間でカキ養殖やワカメ出荷手伝いなどの漁業支援や、イチゴやシイタケの手入れなど農業支援、こどもの見守り、地域コミュニティ活動のバックアップとさまざまな形で活動を行いました。



活動の合間には、震災遺構に足を運び、震災当時の様子や復興に向けてのプロセス、現在でも抱えている諸問題についてお話を伺い、



志津川中学校から町全体が流された志津川町内の様子（左上）、防災庁舎跡（右上）を見学し、遺構のひとつである吉野会館（下）では、津波の高さを目の当たりにしました（写真上部青いプレートの高さまで津波が到来）。



お世話になったカリタスマス川ベースの方と一緒に。6日間ありがとうございました。



◁ Tag 行事・イベント

[詳細を見る](#)

福島県 南相馬D隊…

2017年08月24日

南相馬ではD隊が活動中です。

社会福祉協議会のサロンでは得意（特異？）の歌声を披露…



白衣のお医者さんは福島県立医大から検診にこられました。

幼稚園では…



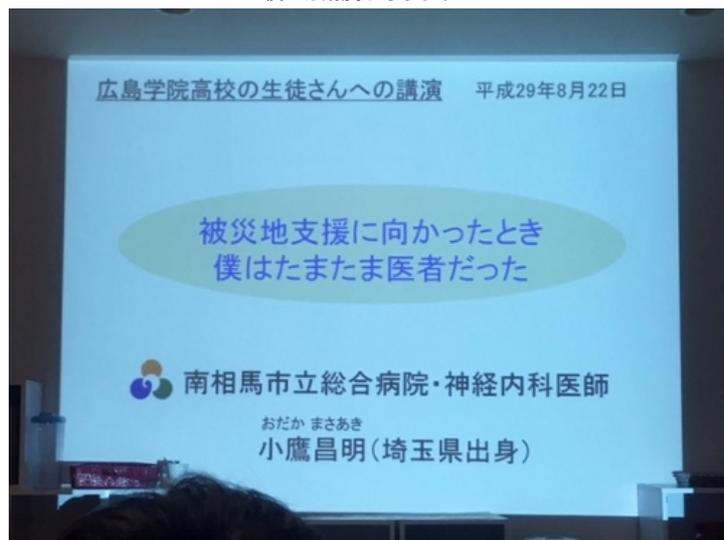
「おにいちゃん…もう一回グルグルしてえ〜！」
「え〜っ、また〜？」（吐きそうになりながらも期待に応えます）

富岡町 くしゃぐしゃになったパトカーの前に慰霊碑がありました。



住民に避難を呼びかけていた当時24才の警察官の方はまだ見つかっていません…

夜には講演があります！



明日からはG隊が活動開始します！

.....
こちら連日「高温注意情報」が発令される広島

リニューアル工事も終盤…新学期にはきれいな前庭になります。



Tag N.K, 日常

[詳細を見る](#)

東北ボランティアc隊活動最終日

2017年08月23日

東北ボランティアc隊活動最終日です。
↓カリタス米川ベースのモアイとも明日でお別れです。



↓今日は、菌床シイタケ栽培のお手伝いの班と昨日に引き続き障害を持った児童の施設にじのわの班の2チームで活動しました。↓菌床チームの写真です。活動の中で、地道な作業を行う人手と人間同士の交流が必要だと痛感できました。



↓にじのわのチームの写真です。一緒に遊んだあと、仲良くなってお昼寝タイムに一緒にお昼寝したそうです。



↓早稲田と国際基督教大学と清泉女子大学の大学生のみなさんとも合流して活動しました。皆さん、東北ボランティアは数回目で、高校生の頃から活動に参加されているそうです。また、菌床栽培の社長さんは、海岸から3km内陸だったにも関わらず津波にあわれたそうで、陸になるほど津波は高くなって、丘を乗り越えて津波が来たということを聞いた時はぞっとしました。



↓菌床班は午後からは、源義経にゆかりのある神社の境内を掃除しました。それまで見過ぎていたのですが、外来種のアレチウリが津波のあとに広がっているそうです。気にして道路をみると、アレチウリや津波の後にできた野原など段々と区別できるようになってきて、かなりの範囲に広がっている事が分かりました。



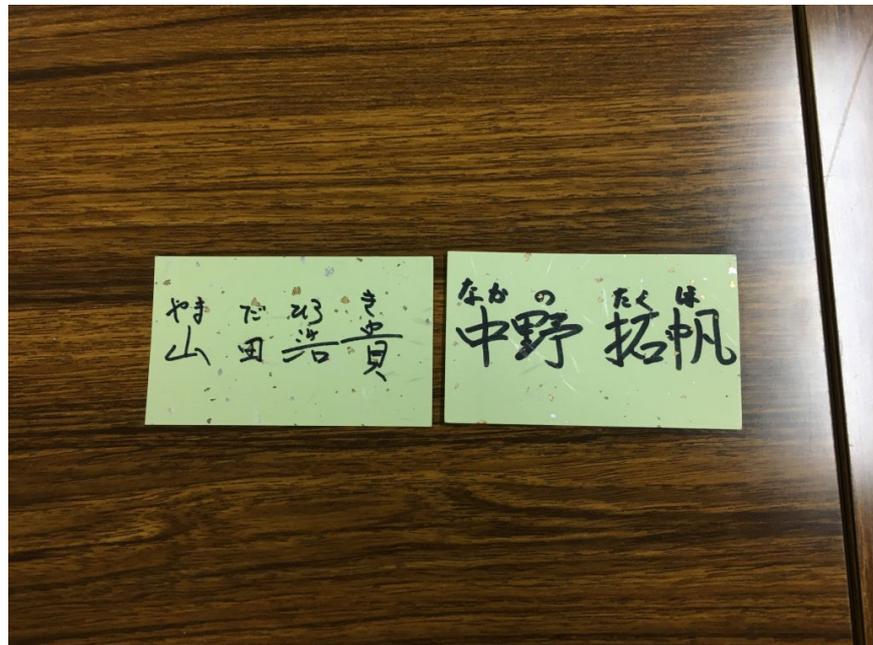
↓おくとパスとモアイが復興のシンボルのようでした。



↓うちのシャイボーイ達にも女子大生のお姉さん達は気さくに話しかけてくれて、大学の事など色々とお話をしてくれました。聞いてみると、うちの数学の中野先生と知り合いだそうでした。



↓本校、教員の名札がまた来ても良いように保管されていました。



最後に、カリタス米川ベースで震災直後からのスライドを見せて頂いたのですが、沢山の人の力で凄まじい量の瓦礫が6年半かかって撤去されて、ようやくフラットの状態になり、今からやっと復興ということを感じました。また、自分に何ができるのかなど思ったこともありましたが、1人1人が繋がってつないでいく事が大切だと感じました。

東北では今からさらに若い世代の力が必要とされており、ボランティアとはいいいながらも、やってきた私達の得たものはとても大きく、便利な世の中で忘れかけていた人と人の繋がりの強さや喜びを再確認できました。今回参加したみんなには是非、広島に帰ってこのことを色々な人に話してもらいたいです。また、地元の方々からは、観光でもなんでも良いから一回来てみて下さい。美味しいご飯や豊かな自然がありますよ、とのこと。また、地道な仕事が山積みだそうです。

今回お世話になったカリタスジャパンのスタッフの皆様、東北の皆様、この機会を与えて下さった皆様、本当に、ありがとうございました。

明日、ちょっとたくましくなった生徒達を無事に広島に連れて帰ります。

Tag 日常

[詳細を見る](#)

南相馬D隊 活動開始！

2017年08月22日

南相馬ではA隊（8/11～）、B隊（8/16～）に続き、
D隊（8/21～）の活動が始まりました。

C隊（8/18～）、F隊（8/23～）は南三陸町での活動となります。



一日の始めはラジオ体操から…

といっても、学院体操に慣れている生徒はラジオ体操がわかりません。

宿題を気にしながらも、
家でゴロゴロしている生徒（教員？）はいませんか…？

甲子園もカーブも見ずに、
東北でがんばっている生徒がいることも忘れないでください！

Tag N.K, 日常

[詳細を見る](#)

東北ボランティアc隊活動3日目

2017年08月21日

東北ボランティアc隊活動3日目です。

今日は障害児童支援施設にじのわへ行った班と、漁港へ養殖の牡蠣の稚貝用のホタテを作りに行った班とで分かれました。

↓にじのわの児童たちと一緒に遊んだりお昼寝したりと、こちらがかなり癒された部分がありました。人手不足と施設不足について少しだけ話を伺う事ができました。



↓漁港班はこれをひたすら作ったそうです。

無心で作業するなかで、漁業の大変さや震災の影響について考える事ができたそうです。



↓カリタス米川ベースにあるモアイです。



↓葉がないユリみたいな花がしばしば生えていて聞いてみると、ヒガンバナ科のダイヤモンドリリーの仲間だろうということでした。その他、道端をカブトムシが歩いていたたり、夜になると大きな蛾が止まっていたりと、東北の自然も感じることができました。明日が、ボランティア活動最終日なので、最後まで気を抜かず活動したいと思います。

↓地元のお手伝いをしてくださるお母さんが生けて下さった花です。食事なども作って頂き、本当にありがとうございます。



Tag 日常

[詳細を見る](#)

東北ボランティアc隊活動2日目

2017年08月20日

東北ボランティアc隊活動2日目です。
9時には寝てしまうので、6時起床でもなかなか元気でした。
今日は、午前中は全員で農業支援に行きました。



↓ハウスの下のスギナとりをしているところです。



↓鎌で雑草をとりました。



↓オクラ、ピーマン、ナスの収穫をさせていただきました。



↓無農薬なので、オクラは生でも美味しく食べられました。



↓沢山収穫できました。私たち以外にも、青森からと、カリタス女子高校からもボランティアに来て一緒に活動できました。農家の方のお話では、流通の悪化や人手の減少の影響を強くうけたといった話をされていました。



午後からは、震災後の史跡に連れて行ってもらいました。
↓防災庁舎についてのお話や、どこまで津波がきたのかということや、みんなを助けようと必死だった人達の話や、震災時の判断や対応が今でも議論されていること、6年目が過ぎてようやく道路や施設が出来始めて、復興の兆しが見え始めたことなどのお話を聞きました。



↓ほんの数メートルの高さの違いだったそうです。



↓丘の中腹にある碑です。



↓震災直後はガレキだらけだった砂浜も、海水浴ができるように整備されてきたそうです。



↓南三陸のいたるところでモアイ像が見られ、復興のシンボルとして大切にされていました。ただ、復興はまだまだこれからといった印象でした。
明日からも、引き続き様々なことを実際に見聞きしていきたいと思います。



◀ Tag 日常

[詳細を見る](#)

東北ボランティアc隊活動1日目

2017年08月19日

昨日、約12時間かけて東北の米川に到着し、今日がボランティア1日目です。
今日は、仮設住宅のお茶っ子サロン釜石へのチームと、稲淵漁港へのチームに分かれて活動を行いました。

↓写真は、漁港チームのもので、
ワカメの養殖用の網を綺麗にしているところです。



↓漁港に向かう途中の沿岸部は、震災から6年経って、ようやく復興がスタートし始めているといった様子でした。



↓防災対策庁舎も見ることができました。
以前の表土は、今の10メートル下にあるそうです。



↓地元のボランティアのお母さんが作って下さった夕食をみんなで頂いて、1日が終了しました。お茶っこサロンでは、高校生くらいの年代が少ないそうで、小学生達の良い遊び相手になれたようです。また、仮設住宅の重要性と課題についても感じる事ができたようでした。明日からも、ボランティア活動の中で東北の現状についてしっかり見ていきたいと思います。



◁ Tag 日常

[詳細を見る](#)

2017フィリピン研修12~15日目(8/6~9最終日)

2017年08月15日

フィリピン研修12日目は8/6、朝、広島に祈りをささげたのち、生徒はホストファミリーとともにナガ滞在最後の一日を過ごしています。我々教員はナガ高校の先生のおはからいで海水浴へ。のんびり海を楽しみました。



8月7日, 13日目, ホストファミリーとお別れです。いろいろな思いを胸にナガを離れます。マニラに戻り, 佐藤神父様とともにナボタス地区を訪問。当日の分かち合いから, 現地の人々と話をする中で, 「大切なもの」「家族」「幸せ」などさまざまことに生徒たちは思いを巡らせたようです。



8月8日, 14日目。ストリートチルドレン支援NGOである"カンルンガン"にて炊き出し活動を行いました。研修を通して彼らが疑問や問題として感じていたフィリピンにおける「格差社会」での、弱者といわれる人たちへの具体的な支援活動に携わることで、何かしら疑問の答えを見つけた生徒もいれば、逆に疑問が深まった生徒もいたようです。



一日がかりの炊き出しを終えてカンルンガンの施設に戻ってくると、子供たちがダンスで出迎えてくれ疲れが癒されました。今回、カンルンガンを支援している日本のNPO法人"AWPS"の岩佐さんが炊き出しに同行してくれました。ありがとうございました。



15日目, 2週間にわたる研修も最終日, さまざまな思いを胸にフィリピンに別れを告げて一路広島へ。広島空港では保護者の皆さんと校長先生が出迎えてくださいました。



このたびのフィリピン研修旅行にあたり、準備段階や道中にてお世話になりましたすべての方々に厚く御礼申し上げます。

Tag

[詳細を見る](#)

2017フィリピン研修 8～11日目(8/2～8/5)

2017年08月06日

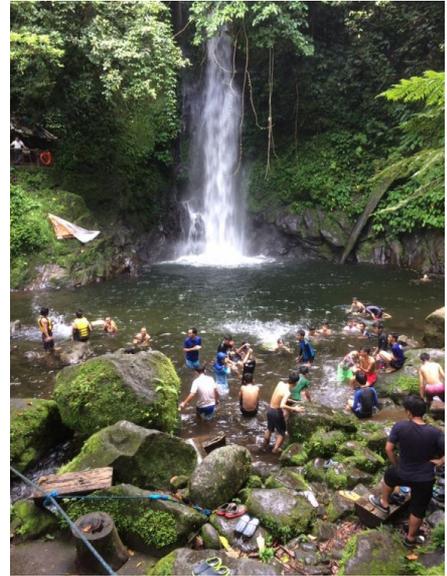
フィリピン研修はナガでの生活が続いています。9日目の3日は、社会的に弱い立場の方々を受け入れる施設であるMissionaries of the Poorを訪問しました。施設内に幼稚園があり、子供たちと一緒に時間を過ごしました。



8月4日に高校で行われたミサでは、広島、長崎の原爆で亡くなられた方々への祈りがささげられました。ジョディ先生(左)も、ナガ高校の校長先生(右)と一緒にミサに。



11日目の今日はホストブラザーと一緒に遠足。干潟でマングローブの植樹を行い、午後は滝つぼで水遊び。フィリピンでは4～5月が水遊びをするシーズンで、8月の今はオフシーズンなのだそう。



夕方からはFarewellパーティーが行われました。7日月曜の朝にはナガを発つので、ファミリーと過ごすのは日曜日が最後になります。ホストファミリーの皆さん、ありがとうございました。



◁ Tag 行事・イベント

[詳細を見る](#)

2017フィリピン研修6・7日目

2017年08月02日

フィリピン研修も1週間目を迎えました。生徒・教員ともに元気に過ごしています。今日からホストブラザーとともに学校生活を送っています。初日の今日は講堂で全校生による歓迎会が催され、学院生ひとりひとりの挨拶にナガ校生から温かい声援が送られました。



今年でフィリピン研修が始まって20年の節目を迎えることから、書道教諭の中村先生が記された掛け軸をナガ校に寄贈しました。早速、中央玄関に掲示されています。



午前中は市内の貧困地区にある幼稚園を訪問して、園児たちとともに遊びました。



ホームステイの期間中は、ナガ校生と一緒に授業を受けます。



夕方は、各ホームステイ先を家庭訪問。どちらのご家庭も暖かく「家族の一員」として受け入れられていることを実感します。



◀ Tag 行事・イベント

[詳細を見る](#)

福島県南相馬市の中高生との交流会

2017年08月01日

南相馬市の中高生14名が3日間の広島視察研修を行っています。



平和学習はもちろん、福島第一原発と隣り合わせで生活する彼らが、原爆から復興した広島の様子を視察し、南相馬の未来を見つめるのが目的です。

そんな彼らが本校を訪問し、本校生徒と交流・意見交換してくれました。

小グループでのワークショップ





自身の被災体験・生活や、家族の原爆体験、今の社会に対して感じていること…普段はなかなか、口に出せないデリケートな話題も、お互い語り合うグループもありました。

全体発表・意見交換



平和・放射線・復興・命の重さ・風評被害…テーマは多岐に及び、決して答えの出る話し合いではありませんでしたが、お互いにとって、深い学びの時間になったと思います。



引率の番場さち子先生をはじめ、この貴重な機会を用意して下さった南相馬の皆様から感謝いたします。これからも、南相馬と広島をつなぐを大切にしていきたいです。

◀ Tag Y.A. , 2017年8月 , 日常

[詳細を見る](#)

▲ [ページの先頭へ戻る](#)



広島学院中学校・高等学校

〒733-0875 広島市西区古江上1-630 TEL:082-271-0241 / FAX:082-271-6784

[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [アクセス](#) [お問い合わせ](#) [リンク集](#)

Copyright (C)学校法人上智学院 広島学院中学校・高等学校, .All Rights Reserved.